



## 中山リサイクル竣工式



1月17日、中山リサイクル産業株式会社うきは工場の竣工式が行われました。

新工場は「久留米・うきは工業団地」内に位置した総合木材リサイクル工場で、産業廃棄物・一般廃棄物・有価物扱いとなるあらゆる木材が受け入れ可能になります。

災害時などに大量の木くずが発生した場合にも迅速に対応できるよう余裕を持った生産能力を保持しています。

## 東武トップツアーズ（株） 300万円の寄付



東武トップツアーズ株式会社より、企業版ふるさと納税を通じて「うきはラグビータウンプロジェクト」に300万円の寄付をいただきました。

2月14日に市役所で行った目録贈呈および感謝状贈呈式で、九州総括部長草場様より目録が贈呈され、「地域の課題解決に全力で協力していきたい」と話していただきました。

## トラック協会 横断旗寄贈



3月9日、福岡県トラック協会筑後支部久留米分会の稲富靖史さん、高尾勇二さんから市内小・中学校に横断旗48本を寄贈いただき、各学校を代表して麻生教育長が受け取りました。

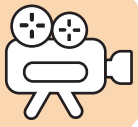
お二人からは「最近、通学時の交通事故のニュースが多く心を痛めている。悲しい事故が一件でも減るように願っています」と話していただきました。

## 「ものづくり日本大賞」 九州経済産業局長賞を受賞



3月2日、福岡市博多区のANAクラウンプラザホテル福岡にて、内閣総理大臣表彰「第9回ものづくり日本大賞」の表彰式が行われ株式会社筑水キャニコムが“九州経済産業局長賞”を授与されました。日本で初めて造林作業の機械化に成功した林業機械「山もっとモット」の開発で、林業全体の生産性向上や労働環境向上、DX化への貢献等が評価されました。





## 第2回 JAL's 寺子屋～パイロットと学ぼう！空の世界～を共同開催



子どもたちに飛行機や空の仕事を知ってもらうために、日本航空株式会社とともに空の世界について学ぶプログラム『第2回 JAL's 寺子屋～パイロットと学ぼう！空の世界～』を2月19日に開催しました。

パイロット、客室乗務員、貨物担当者等の説明を聞きながら、活発な質疑応答が飛び交っていました。普段、飛行機外では触れる機会のない救命胴衣等の使い方にも触れ大人から子どもまで興味津々でした。

## かわいいおひなさま



3月5日・12日に、市内の小学1年生27人の子どもたちが、普段とは違う着物姿のお殿様とお姫様に姿を変え、人力車に揺られながら白壁通りを巡りました。

初めての人力車に少しこわばった表情を浮かべていましたが、人力車に引かれるうちに、おひなさまめぐりに訪れたお客様たちにかわいい笑顔を見せてくれました。

## 「道の駅 うきは」24時間利用可能なベビーコーナー新設



国土交通省が「道の駅」第3ステージの取り組みの一環として、「道の駅」に地域の子育てを支援するための施設整備を行いました。授乳室を備えた24時間利用可能なベビーコーナーの新設、併せて情報提供・休憩室もリニューアルし、休憩しながらうきは市を一望できるようになりました。

休憩室には、うきは市出身の祖父母をもつ、ハワイ州出身の宇宙飛行士「エリソン・オニヅカ氏」の銅板レリーフや、大正12年（1923）に結成され、山春村に大正時代の4年半だけ存在した、農民劇団「嫩葉会（わかばかい）」の資料などが展示されています。

また、この嫩葉会について、令和5年3月1日に添田町出身の中村瑠美子さんが「うきはは春風」と題した小説を文芸社から出版されています。たった4年半だけ存在した「嫩葉会」を知る物語となっています。ぜひご覧ください。

